

6 社会人基礎力の育成・評価の取組の学内普及と 教育システムの体系化に関する取組

6. 社会人基礎力の育成・評価の取組の学内普及と 教育システムの体系化に関する取組

(1) 社会人基礎力の育成を目標としてシラバスに明記した科目の拡大

社会人基礎力の育成を教育目標としてシラバスに明記した科目を拡大する取組に関しては、当初の計画を上回り、来年度から全学の全科目に明記されることになった（シラバスの様式は資料10）。

昨年度から進められてきた作業の過程は以下の通りである。

① 昨年度：現状把握とムードづくり

i) 担当授業と社会人基礎力とに関する対教員アンケート調査

- a. 担当授業にすでに組み込んでいる社会人基礎力
- b. 担当授業を受講するまでに習得しておくことが望まれる社会人基礎力

ii) 全学の全科目（1,917 科目）のシラバスを対象にした、社会人基礎力に関連した表現に関するサンプリング調査

② 本年度：社会人基礎力のシラバス掲載に向けての作業

1. キャリア教育研究開発センターの意思決定機関である運営委員会で社会人基礎力をシラバスに記載することを検討して、運営委員会メンバー間の情報共有を図る。
2. キャリア教育研究開発センター運営委員長が運営委員会に素案を提出し、運営委員会案を策定。
3. 運営委員会案をベースにして、全学のシラバスを所管している教学センターと学士力の問題を絡めながら意見交換し、合意のもと社会人基礎力の掲載問題を教学センターに預ける。
4. 教学センターの意思決定機関である全学教務委員会で検討し、全学教務委員会案を策定。
5. 全学教務委員会はその案を各学部教授会に提示し、意見を聴取。
6. 全学教務委員会は聴取した意見を調整して全学教務委員会案に反映させ、各学部教授会にフィードバックし、教授会の了解を得た。
7. 全学の教授会の了承を得たので、教学に関する全学最高意思決定機関である部局長会にその案を上程し、来年度からの実施が決定された。

(2) 社会人基礎力の育成・評価のノウハウの普及

① 学内

1. 平成 21 年度秋学期全学一斉公開授業週間（平成 21 年 12 月 1 日～12 月 14 日）に授業を公開した。
2. 社会人基礎力育成グランプリ 2010 西日本予選大会出場チームの選出にあたって、社会人基礎力の学内普及を狙って出場希望チームを全学から公募した。その結果、文化学部がゼミが応募し、学内普及の効果がみられた。

② 学外

i) 京都産業大学主催報告会

◇2009 年 7 月 25 日

京都産業大学 PBL 研究会 於大阪

テーマ：キャリア教育の現状と今後—PBL 教育を活用した社会人基礎力育成
の視点から

◇2009 年 9 月 11 日

京都産業大学 DAY 東京（企業イベント） 於東京

テーマ：企業参画型教育の人材育成効果—経済産業省社会人基礎力育成・
評価事業モデル大学 O/OCF—PBL 教育について

◇2009 年 11 月 13 日

京都産業大学 DAY 京都（企業イベント） 於京都

テーマ：O/OCF—PBL について

◇2010 年 2 月 20 日

経済産業省「平成 21 年度体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・
実証事業」O/OCF—PBL 報告会 於大阪

ii) セミナー・研修

◇2009 年 4～6 月

社会人基礎力養成新入社員教育（京都商工会議所）

第 1 回 2009 年 4 月 21 日（火）9:30～16:30

第 2 回 4 月 22 日（水）9:30～16:30

第 3 回 5 月 19 日（火）9:30～16:30

第 4 回 6 月 23 日（火）9:30～16:30

◇2009 年 9 月 15 日

社会人基礎力トレーナー養成セミナー（京都経営者協会）

◇2009 年 10 月～2010 年 1 月（週 1 回）

京都未来を担う人づくりサポートセンター人材育成講座（京都府緊急雇用対
策基金） 於京都産業大学

◇2009 年 11 月 24 日

社会人基礎力向上のための大学教育プログラム研究会（日本能率協会）
於京都産業大学

iii) 学会報告

◇2009 年 8 月 8 日

全国四系列教育会議 第 26 回大会 於桃山学院大学

テーマ：二段階方式実践的 PBL 型教育

◇2009 年 9 月 27 日

日本キャリアデザイン学会 第 6 回研究大会 於千葉商科大学

テーマ：京都産業大学における社会人基礎力育成教育成果の実証分析

iv) その他雑誌・新聞等

巻末添付資料参照

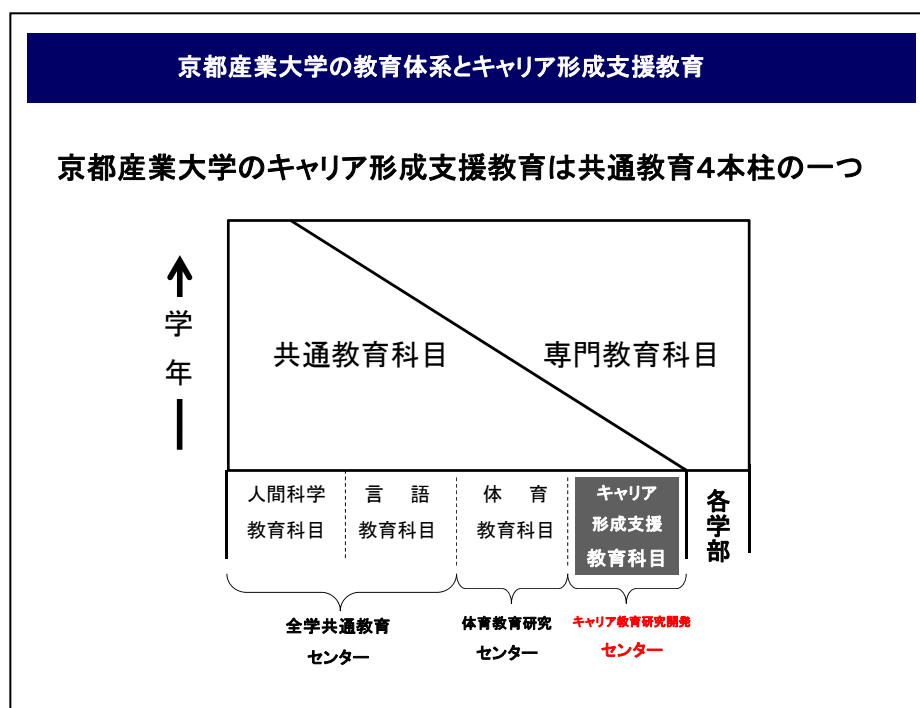
(3) 社会人基礎力育成のための科目や活動の体系化

京都産業大学における社会人基礎力育成教育は本学キャリア形成支援教育の中核に位置づけられている。また、そのキャリア形成支援教育は、全学部専門教育の基盤になっている全学共通教育（教養教育）を支える 4 本柱の一つとしての役割を担っている。

① 大学全体の教育体系の中のキャリア形成支援教育

図 6-1 が示す通り、京都産業大学では専門科目は各学部属し、共通教育科目の四つの柱は三つのセンターが担当している。なお、共通教育科目は学生の学習スタイルに合わせて 4 年間に亘って履修できるようになっている。

図 6-1



6. 社会人基礎力の育成・評価の取組みの
学内普及と教育システムの体系化に関する取組

② キャリア形成支援教育の中の社会人基礎力育成教育

図6-2が示すように、本学のキャリア形成支援教育は三つの系列からなっており、図中に赤字で記されている社会人基礎力育成教育は全体の基盤になっている。

図6-2

